

指標名: 院内出生の退院時の母乳率

背景

NICUでは、母児の愛着形成の一つとして母乳育児を推進している。また母乳は児の疾病予防および、発達推進、腸内細菌の生成、免疫強化、経済的など多くの利点があり、人工乳に比べて栄養面にも長けており消化が良いとされている。NICUに入院する児は物理的な母子分離状態であり、母親は産後早期に面会へ来にくい環境となる。また児の状態により直接授乳を制限されることが多く、母自身の搾乳で母乳分泌維持を求められることが多い。乳汁分泌が確立し維持されるためには産後2週間の乳汁分泌が大切であると言われており、早期からのニーズに合わせた母乳育児支援を継続的に行うことが母乳分泌維持・母乳栄養を確立させることに重要である。また母乳分泌は精神的な要因も大きく関与しているため、看護師が早期から継続的に母乳育児支援を行いながら精神的な支援を行うことで母乳分泌量を維持していくことが出来る。

データの定義

定義(分子):院内出生でNICUに入院し、母親の母乳育児希望がある日齢8以上でNICU退院または転棟時の母乳栄養の人数

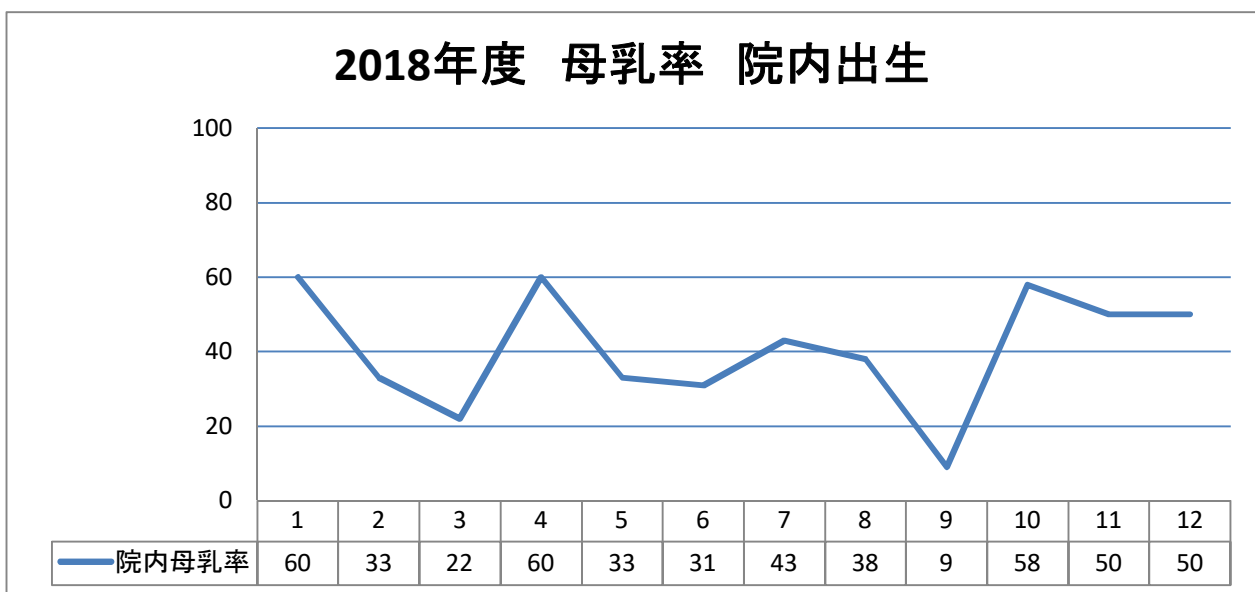
対象(分母):院内出生でNICU入院し、母親の母乳育児希望があり、日齢8以上で退院・転棟した児の人数

母乳栄養とは、退院日に母乳のみの栄養であった児。ただし、児の疾患や母の治療や内服に伴う母乳栄養が制限される場合は除く。また母乳のみを使用してきたが、持ち帰り物品の関係などで退院時のみミルクを使用した事例は、母乳とする。

日齢8以上の入院児を対象とする理由:乳汁分泌は日齢3頃から児の必要量と分泌量が合ってくる。児がNICUに入院し母子分離状態の母はストレスのため乳汁分泌が遅れることもあるため日齢8を目安とした。母親の母乳希望を対象とした理由は、母親の母乳育児に対するニーズにより差が出てくる可能性があるため、母乳育児希望があったとした。

2018年度のデータ

院内出生児の退院時、転棟時の母乳率 39.7%



参考データ

2014年度	院内出生児の完全母乳率	50.3%	(2014年1月～12月)
2014年度	院外出生児の完全母乳率	45.4%	(2014年1月～12月)
2015年度	院内出生児の完全母乳率	48.4%	(2015年1月～12月)
2015年度	院外出生児の完全母乳率	34.3%	(2015年1月～12月)
2016年度	院内出生児の完全母乳率	36%	(2016年1月～12月)
2016年度	院外出生児の完全母乳率	30%	(2016年1月～12月)
2017年	院内院外4月～		

評価

2018年度の母乳率は39.7%であった。今年度は院内出生でかつNICU内からの退院・転棟時の母乳率を算出しており、前年度まではGCUでの退院も含めての母乳率を出していたため比較は難しいが、母乳率は目標値の45%に達しなかった。

母乳希望の母親の児の母乳率は78%であり、母親の母乳で育てたいという気持ちが強いほど母乳率は高いと考えられる。母乳栄養で退院・転棟できた理由としては、超低出生体重児などで日齢が長い児や、日齢7での搾乳回数や量が確立し、かつその後の日齢14や日齢21も継続して搾乳回数が維持できている児に多かった。日齢7の時点での搾乳量や回数が確立・維持できていない場合、その後の搾乳回数を維持・継続していても、母乳のみでの退院は難しく混合での退院・転棟となる事例が多かった。また、母乳率が低い原因としては日齢が浅く搾乳量が児の哺乳量に追いつかない児や、多胎による母乳必要量が単胎に比べ多く混合となる事例、また外科疾患(消化器疾患・心疾患)による早期での外科手術に対する母の不安やストレスの増加、また授乳の制限や母乳栄養の制限に伴う母乳分泌の停滞が考えられる事例もあった。母親への初回面会時の母乳希望を聞き出せておらず、母乳希望不明の患者が数件みられたため、今年度10月以降より初回面会時の母乳育児支援に関する情報を口頭での確認のみから記入式で母と一緒に共有するようにした。この対策により初回の母乳希望の確認についての不明となる事例はなく、母乳育児支援における初回での情報収集はできていたと考えられる。しかし搾乳回数・量の確立には早期からの搾乳支援が必要であり、母の母乳希望に沿った介入を早期から継続して行っていく必要がある。

このためには今年度より新たに搾乳支援の内容を盛り込んだパンフレットを用いた出生前訪問での早期からの母乳育児支援の開始ができること、また産科・MFICU等、母と早期より関わる部署との連携が必要となってくる。次年度はこれらが課題になると考えられる。

参考文献

- 1) 大山牧子: "母乳育児支援の理論と実際", NICUスタッフのための母乳育児支援ハンドブック, メディカ出版, 2004
- 2) 桶谷桐子: "すぐ使える! 70の実例から学ぶ" 母乳育児支援ブック, メディカ出版, 2009
- 3) 山口直人: "小さく生まれた赤ちゃんの母乳育児支援", ネオネイタルケア, メディカ出版, 2015